

大阪大学経営協議会（令和5年度 第1回）議事要旨

日 時 令和5年6月1日（木） 13時30分～16時05分

場 所 大阪大学中之島センター 8階大会議室

出席者 西尾総長（議長）

池上、生駒、井上、金倉、来島、黒田、多田、塚本、豊田、蓮輪、村木、金田、田中敏宏、尾上、福田、田中学、水島、山本、豊岡、竹村、深瀬、熊ノ郷、有川 各委員

欠席者 井野瀬、出口、中野 各委員

議事に先立ち、西尾議長から会議開催に必要な定足数を満たしている旨の報告と、4月30日に開催した中之島センター改修お披露目会への出席に対する謝辞があった。

続いて、令和5年4月から新たに就任した委員及び陪席の泉谷理事から挨拶があった。また、西尾議長から前回（3月7日開催）の議事要旨については、事前に各委員に照会し、内容を確定して本学ホームページに公表済みである旨の報告があった。

議 事

1 国際卓越研究大学の公募に係る申請について

西尾議長及び尾上委員から、配付資料に基づき報告があった。

2 前回のご意見等に対する取組状況について

西尾議長から、配付資料に基づき報告があった。

3 令和6年度概算要求（施設整備事業）について

金田委員から、配付資料に基づき報告があり、審議の結果、これを承認した。

なお、施設整備事業の要求順位については議長一任とさせていただきたい旨説明があり、審議の結果、これを承認した。

4 令和5年度補正予算（案）について

豊岡委員から、配付資料に基づき報告があり、審議の結果、これを承認した。

5 令和4年度決算について

豊岡委員から、配付資料に基づき報告があり、審議の結果、これを承認した。

6 令和4年度資金運用状況について

豊岡委員から、配付資料に基づき報告があった。

本議題に係る学外委員からの主な意見は次のとおり。

- ポートフォリオのマネジメントの仕方は色々であるが、もう少し高いベンチマークをもって運用した方が大学にとってもいいのではないか。

7 長期借入金の償還状況について

豊岡委員から、配付資料に基づき報告があった。

8 教職員の給与について

- (1) 令和5年6月期の教職員賞与及び役員賞与について
- (2) 防疫等作業手当の見直しについて
- (3) 総長参与手当の新設について

水島委員から、配付資料に基づき(1)から(3)について説明があり、審議の結果、これを承認した。

9 第3期中期目標期間に係る業務の実績に関する評価結果について

福田委員から、配付資料に基づき報告があった。

本議題に係る学外委員からの主な意見は次のとおり。

- 評価にあたっては KPI の達成状況が特に重視されることから、その設定にあたっては、より評価に結びつくような設定を検討いただきたい。

10 第4期中期目標・中期計画における「意欲的な評価指標」の指定について

福田委員から、配付資料に基づき報告があった。

11 指定国立大学構想に関する進捗状況<令和4年度特筆すべき成果>について

西尾議長から、配付資料に基づき報告があった。

12 令和4年度OUアクションプラン自己点検・評価の検証結果について

福田委員から、配付資料に基づき報告があった。

本議題に係る学外委員からの主な意見は次のとおり。

- 情報教育に関する目標値について、情報技術を持つ人材に対する社会からのニーズが高まっている状況を踏まえ、あらためてより高い目標値の設定を検討してはどうか。
- 情報技術について、学部等関係なく、学生全員が少なくとも基礎的な情報技術に関する授業を受講できるようにしていただきたい。また、その際には民間団体が実施している講座等の活用も含めて検討いただきたい。
- 生成AIについて、ガバナンスの観点から学生や教職員に対して、大学の活用方針を明示することが重要である。
- 新しい制度やツールの導入にあたっては、大学の方針を示すとともに、ボトムアップで自律的に改革に取り組める組織風土作りが重要ではないか。
- 新たに設置した広報・ブランド戦略本部について、今後、ターゲットごとにどのような取り組みを行っていくのか教えてほしい。

13 令和5年度OUアクションプラン(確定版)について

金田委員から、配付資料に基づき報告があった。

本議題に係る学外委員からの主な意見は次のとおり。

- 大阪大学の強みである産業界とのつながりをより一層強化するためにも、同窓会の活性化は重要である。

14 大阪大学と経済界の「連携の場」の実施について

田中敏宏委員から、配付資料に基づき報告があった。

その他、本日の会議全体を振り返り、学外委員から以下の意見があった。

- 優秀な留学生の獲得や海外留学する学生の増加に向けて、今後、意見交換を行いたい。
- よりチャレンジングな学生や卒業生を輩出するために、大阪大学の掲げる計画や活動の成果について、学生にもより浸透するよう取り組むべきではないか。
- 2025年日本国際博覧会の開催が控えていることから、引き続き産業界との良好な関係を継続するとともに、大阪大学の強みである産学連携をより一層強力に推進していただきたい。また、大阪大学には大阪、関西のグローバル化についても牽引していただきたい。

(以 上)